

[通常機体]カ F 「機動戦士ガンダム F91」

ガンダム F91

| 機体名 | ガンダム F91 | 画像 |
|-------|---|----|
| 型式番号 | F91 | |
| 英語名 | GUNDAM FORMULA-91 | |
| 所属 | 地球連邦軍 | |
| パイロット | シーブック・アノーベルフ・スクレット | |
| 装甲材質 | ガンダリウム合金セラミック複合材 | |
| 装備 | バルカン砲×2 ビームサーベル×2 メガマシン キャノン×2 ヴェスパー×2 ビームライフル× 1 ビームシールド×1(1) | |
| 作品名 | 機動戦士ガンダム F91 | |
| 参考書籍 | G ジェネレーション F メディアワークス刊デー タコレクションシリーズ 8 機動戦士ガンダム F91 メディアワークス刊 MS 大全集 2003 | |

内容

G ジェネ F

連邦軍の汎用試作型 MS。

F90 シリーズをベースに「現時点での MS の限界性能の達成」を目指して開発された機体。

サナリィの MS 小型化計画の集大成となる MS である。

高出力ジェネレーターを搭載している為、ヴェスパーやビームシールドといった強力なビーム兵装の装備が可能になっている。

また、装甲内に電子機器を埋め込む「MCA 構造」を採用している為、小型 MS のスケールをはるかに超えた性能を発揮することができる。

さらに操縦補助システムとして「バイオ・コンピュータ」を搭載しており、機体の追従性は極めて高い。

また最大出力で稼動した場合、機体冷却の過程で発生する金属剥離効果 (MEPE) によって残像が発生するため、あたかも分身しているような効果を得ることもできる。

フロンティア I のサナリィ施設で完成した試作機が、クロスボーン・バンガードに対する迎撃に投入された。

また後に少数が量産され、連邦軍宇宙艦隊に配備されたともいう。

備考

あまり知られていないが、第二次オールズモビル戦役でも活躍していたという説がある。

この時はバイオコンピュータが未搭載の状態であったが、ベルフはかなりの戦果を上げ、戦役を終結させたいらしい。

関連機体

- ・ ガンダム F90V ヴェスパータイプ

・量産型 F91

スペック

| 項目 | 内容 |
|-----------|-------------------------|
| 頭頂高 | 15.2 m |
| 全高 | |
| 本体重量 | 7.8 t |
| 全備重量 | 19.9 t |
| ジェネレーター出力 | 4250 kw |
| スラスタ推力 | 15530 kg × 44380 kg × 6 |
| アポジモーター数 | 51 (8) |
| センサー有効半径 | 不明 |